

「主を畏れる」 —先週の講壇より—

「ひたすら主を畏れ、誠実に心を尽くして主に仕えなさい。主があなたがたになされた偉大な御業をよく考えなさい。」 I サムエル 12:24 【共同訳】

日本のクリスチャン冊子「百万人の福音」のコラムに、著者が猫を飼ったという話題が掲載されていました。著者は動物保護センターから保護猫をもらって飼っているというのですが、この猫がちょっと普通の猫と違うというのです。顔をペロペロ舐めてくる、嬉しことがあると尻尾を振る、まるで犬の遠吠えのように「ワオーン」と鳴く！？

なぜこの猫が犬のようなことをするかというと、実は以前飼われていた家では犬と一緒に暮らしていたということが分かりました。何かの理由で捨てられたこの猫ですが、かつての犬との暮らしはきっと温かく、良いものだったのだろうと、そのように著者は考えているようです。優しい犬と一緒にいたら猫でも犬のようになるのだなあと、何とも面白い実話です。

サウルは主の愛の道を歩み、主と共に生きる者でした。だから謙遜で、主と民を愛しつつ、正しい道を歩むことができたのです。神様を畏れ敬う者は、主の喜ばれる歩みをしていくことが出来るのだということです。

オレンジ郡教会 牧師 榊原のぶ



《 主 の 祈 り 》

天にまします我らの父よ。願わくは御名を崇めさせ給え。御国を来たらせ給え。みこころの天になるごとく、地にもなさせ給え。我らの日用の糧を今日も与え給え。我らに罪を犯す者を我らが赦すごとく、我らの罪をも赦し給え。我らを試みに会わせず、悪より救い出し給え。国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。アーメン

《 使 徒 信 条 》

我は天地の造り主、全能の父なる神を信ず。我はその独り子、我らの主イエス・キリストを信ず。主は聖霊によりて宿り、おとめマリヤより生まれ、ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、十字架につけられ、死にて葬られ、陰府に下り、三日目に死人の内よりよみがえり、天に昇り、全能の父なる神の右に座し給えり。かしこより来たりて生ける者と死にたる者とを審き給わん。我は聖霊を信ず。聖なる公同の教会、聖徒の交わり、罪のゆるし、体のよみがえり、とこしえの命を信ず。アーメン

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は 1977 年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は 1921 年に創立され、現在は日英両語合わせますと 2000 名を越える会員になります。私たちの教会は 18 世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3 世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

2024 年 5 月 5 日



礼拝：9時半～
聖書の学び：11時～



榊原のぶゆき牧師

(714) 827 - 6244 nobu@occc.org

4872 Bishop St, Cypress, CA 90630

Facebook: オレンジ郡キリスト教会

ホームページ: www.occc.org



【教会年間聖句】

「主を仰ぎ見て、光を得よ」

詩篇 34:5

☆ 集会案内 ☆

日曜礼拝 : 09:30-10:20

礼拝は短縮して持たれています。

礼拝後のバイブルスタディ、平日のクラスなどは、現在休止しています。

